



にほんまつ地球市民の会

NIHONMATSU GLOBAL CITIZENS' ASSOCIATION

にほんまつ地球市民の会とは

平成6年に国際協力事業団の二本松青年海外協力隊訓練所が、二本松市岳地区に開設されました。これを契機として、市民を挙げて訓練所をバックアップするとともに、国際理解・交流を深めることを目的として平成6年11月に設立されたのが、「にほんまつ地球市民の会」です。現在、個人会員は約260人、法人会員31団体を数えています。

にほんまつ地球市民の会

福島県二本松市金色403-1
事務局 二本松市役所総務部
企画財政課内
TEL 0243-55-5090
発行人
会長 三保 恵一
印刷
（株）松屋印刷所



城下町交流ウォーク～霞ヶ城公園天守台にて



所長着任あいさつ

JICA二本松訓練所 所長 水谷 恭二

この度の一連の大災害に際しまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

はじめまして。4月末、パプアニューギニアより帰国し、二本松に参りました水谷と申します。着任日、安達太良山の残雪と花時を待つ桜が迎えてくれました。ひさしぶりの桜、雄大な景色はすばらしく、二本松の魅力にしっかりと捉まってしまうました。

17年前、訓練所開設の頃は、東京の協力隊事務局に勤務しており、以来、たびたび参っておりますので、二本松駅、福島交通のバス等なつかしさで一杯です。今回、市役所にて転入手続きをしました

が、小生の名札を見て、「あっ、JICAさん、海外からの転入ですね。」と親切に應對いただきました。訓練所が地域の皆様にしつかり、おなじみになっていることを実感させていただきました。

平成6年度3次隊から始まった訓練も昨年度末までで、計55回を数え、巣立っていった隊員、シニア海外ボランティアは、計8937名になります。

今回の地震発生後、お世話になった方々は大丈夫だろうかとはせ参じた帰国隊員もおられると聞いています。そのような、二本松ファンとなった方々と二本松市民とのより細やかな関係作りもひとつの課題かと考えています。

さて、今回の大災害発生後、福島県の要請を受け、3月14日より、訓練所施設

を避難所として提供しております。最も多いときで457名がおられました。6月1日現在、約150名の方々がおられ、滞在中の方々がより快適に過ごすことができるよう心がけております。

このため、平成23年度1次隊の派遣前訓練は、長野県の駒ヶ根訓練所と大阪府茨木市にあります。途上国から日本に來られる研修員の受入施設である、大阪国際センターにて実施中でございます。次の2次隊も同様の対応を予定しており、10月6日入所予定の平成23年度3次隊から、二本松での訓練を再開したいと思っております。

一昨年の事業仕分けで、弊機構の「説明力」不足で皆様にもご心配、ご迷惑をおかけしましたが、今後は、できるだけわかりやすく国際協力やJICA事業をお伝えするよう心がけていきたいと思っております。

今後ともますます地域に根ざした訓練所を目指していきたいと思っておりますので、引き続き、みなさまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

昭和56年、青年海外協力隊員としてマラウイに派遣。その後調整員で再度マラウイ勤務。昭和63年国際協力事業団入団、青年海外協力隊事務局勤務の他、パプアニューギニア、フィジー、マラウイのJICA事務局に勤務経験あり。

城下町交流ウォーク

平成22年11月7日(日)に、二本松青年海外協力隊訓練所のJICAボランティア平成22年度3次隊及び訓練所スタッフの皆さんと約3時間にわたり市内を巡る「城下町交流ウォーク」を実施しました。

当日は、秋晴れのウォーキング日和の下、総勢50名で、市民交流センターを出発して、松若通り〜二本松少年隊墓所〜霞ヶ城公園〜天守台〜観音丘陵遊歩道〜亀谷坂〜本町と、ゆっくり市内散策を楽しみながら交流や友好を深めるなど、いい思い出作りができました。

開催にあたっては、春のさくらウォークに引き続き二本松市健康歩こう会会員の方々にご協力をいただき、また亀谷の露伴亭ではお茶の接待を受けるなど、市民の皆さんとも交流を図ることができました。



市民交流センターでの出発式

城下町交流ウォークの感想

- ①名前
- ②派遣国
- ③職種

①今野愛子 ②タンザニア ③小学校教諭
 にほんまつ地球市民の会の皆様には準備、案内、片付けなど参加者が楽しめるよう配慮して頂き、感謝しております。市民の方々と主催者の方々とお話をしながら二本松を観光することができて、ますます二本松が好きになりました。任地で今日撮った写真を見せ

て紹介したいと思います。楽しい時間をありがとうございました。

①杉山比呂三 ②タンザニア ③理数科教師
 最高でした！二本松少年隊の墓、見晴台、霞ヶ城公園など素晴らしいコースで二本松の自然豊かな景観を楽しむ事ができました。そして、個人的には亀谷坂を通過して亀谷坂露伴亭に出会えたのはとても嬉しかったです。幸田露伴は僕の好きな作家であったので思い深い場所でした。

①古池勝也 ②タンザニア ③観光業
 この度は、素晴らしい催しを誠にありがとうございました。ウォーキングを通して二本松という土地の歴史と魅力に触れることができ大変嬉しく思います。また、市民の皆様と交流ができた事もとても良い機会となりました。以後の隊次の際にもよろしくお願いたします。

①村上野志夫 ②タンザニア ③理学療法士
 地元の方たちと二本松を歩くことで地域の史跡など歴史も交えて詳しく教えて頂きました。すごく楽しく歩く事ができました。ありがとうございました。

①小堀裕美 ②ブータン ③看護師
 とっても楽しい半日でした。ゆっくりといういろいろな方々とお話でき、二本松の歴史などにもふれることができました。JOCVのみでは



二本松少年隊墓所(大隣寺)

このような平日は過ごすことができなかったと思います。準備して頂いた方、二本松の歴史について教えてくださった方、企画してくださった方、皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

①瀬川 裕 ②エチオピア ③PCインストラクター
 二本松市の歴史を知ることができて良かったです。また二本松市民の方々と話をする事で新鮮な気持ちになりました。紅葉が綺麗で素晴らしい町だったです。



亀谷坂露伴亭にてひと休み

①藤澤礼香 ②モロッコ ③青少年活動
 いいお天気、いい人、いい町、たくさん発見がありました。心もお腹もいっぱい笑顔になりました。ごちそうさまでしたー本日たくさん充電できたのでまた明日から訓練に励むことができそうです。本当にありがとうございました。

①松田亜裕美 ②ザンビア ③エイズ対策
 二本松を前から散歩したいと思っていましたが、機会もどこを回っていいかも分からず周れなかったのが、この機会に二本松を周ることに良かったです。紅葉もとても綺麗でしたし、食べ歩きもでき、本当に楽しかったです。また、ザンビアから帰って来たら二本松に来たいと思いました。本当にありがとうございました。

平成22年度 にほんまつ地球市民の会活動報告

- 年4回 二本松駅でJICAボランティアの出迎え
- 年4回 JICAボランティア修了式参加、記念品贈呈
- H22. 4.11 さくらウォーク(210人参加)
- 6.22 役員会
- 6.30 総会
- 9.17 シニア海外ボランティア帰国報告会(40人参加)
- 11. 7 城下町交流ウォーク(50人参加)
- 11.23 ベトナム人医師研修受入れ
- H23. 2.27 地球のステージ(150人参加)



ベトナム人医師受入れ〜霞ヶ城公園洗心亭にて

シニア海外ボランティア帰国報告会 **を開催しました！**

平成22年9月17日(金)午後7時から市民交流センターで、「JICAシニア海外ボランティア帰国報告会」を開催し、会員や市民など約40人が参加しました。

講師の大嶋憲輝さん(平成19年度3次隊、派遣国:モンゴル、職種:撮影技術)からは、ご自身の応募のきっかけや定年前での退職による参加の経緯、また、派遣されてからのモンゴルでの生活や配属先のモンゴル国立ラジオテレビ大学での指導の内容や苦労話、派遣期間中における様々な授業改善や取り組みが評価されて、帰国直前に教育者にとって最高の栄誉である教育厚労相がモンゴルシニア教育者連盟から贈られたことなど、映像や写真も交えながら講演をいただきました。



講演する大嶋憲輝さん



帰国報告会の様子

今回の講演会は、にほんまつ地球市民の会としては、初めてのシニア隊員の帰国報告会となりましたが、青年海外協力隊とはまた違った活動・活躍を知ることができ、講演終了後には、参加者からはいろいろな質問が出されました。

※大嶋さんは、2回目のシニアボランティアに応募し、平成23年1月～3月までJICA二本松で語学訓練を受け、現在、インドネシアでテレビ番組制作を指導しています。

ウガンダにユニフォームを贈りました！

アフリカのウガンダに青年海外協力隊として派遣されている佐藤翔隊員(福島市出身、体育指導)から、『運動着がなく制服のまま活動している生徒達のために、野球のユニフォームを送ってほしい』旨の相談がありました。

にほんまつ地球市民の会で野球のユニフォームの提供を呼びかけたところ、多くの市民の皆様から寄贈を受け、サイズ仕分けを行った後、ユニフォーム140着をウガンダに送付しました。

佐藤翔隊員からのメッセージ

『貧困・格差・情勢不安といった現状の中、青年海外協力隊員活動として野球合同合宿を通して、礼儀・マナー・感謝の心など日本人として伝えられることを中心に合宿を展開し、厳しくも充実した内容になっています。ユニフォームを提供いただいた皆様ありがとうございました。(略)』



ユニフォームを着て練習するウガンダの生徒たち



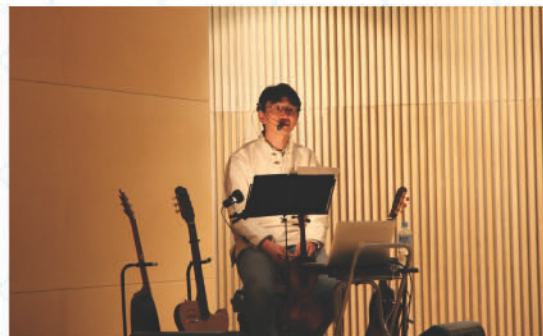
にほんまつ地球市民の集い

「地球のステージ」を開催しました!



2月27日(日)午後2時から福島県男女共生センターで、平成22年度の「にほんまつ地球市民の集い」として、『地球のステージ』が開催され、地球市民の会の会員をはじめ、小中学生から一般の方まで幅広い年齢層のみなさんが150人参加しました。

現役医師の桑山紀彦さんが、学生時代からの海外旅行やボランティアを考えるきっかけのエピソード、貧困や紛争地域での国際医療活動の様子、現地で明るくたくましく生きている子どもたちのキラキラとした笑顔などを、音楽と映像と語りで伝える感動のライブでした。



音楽と映像を交え講演する桑山紀彦さん



あいさつする三保会長

地球のステージとは、世界各地の貧困・紛争・災害地域等で国際医療支援活動を行っている現役の医師・桑山紀彦氏が、その現場でであった人々の輝きを、オリジナルの音楽と映像で伝えるコンサート形式のステージです。日本各地で学校を中心に年間250公演以上開催されています。

※桑山紀彦さんは、東日本大震災以降、ご自身が院長を務める宮城県名取市の東北国際クリニックを拠点に連日連夜の診療、避難所への移動診療を行っています。

地球のステージホームページ <http://www.e-stageone.org/>



二本松駅での出迎えの様子

にほんまつ地球市民の会では、JICAボランティアのみなさんが訓練所に入所する日に、二本松駅にて横断幕等で歓迎出迎えを行っています。みなさんも一緒に出迎えしませんか？
参加できる方は事務局まで連絡願います。
予定 10月5日、1月6日
午前10時30分〜
午後1時まで

◎ JICA
ボランティア出迎え

◎ 平成23年度第5次隊
◎ 平成23年度第3次隊
平成23年10月8日
平成23年5月12日

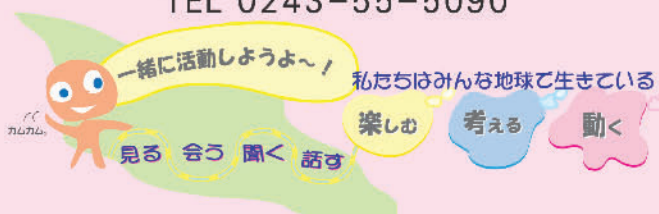
JICA二本松訓練所
訓練予定

会員募集中!

にほんまつ地球市民の会では、広く市民・団体等より会員を募集しております。会の活動に興味を持たれた方は、事務局まで連絡をお願いします。

年会費：個人 2,000円 団体等 10,000円

事務局：二本松市企画財政課内
TEL 0243-55-5090



にほんまつ地球市民の会 総会開催のお知らせ

日時 平成23年6月24日(金)午後7時

場所 福祉センター3階会議室(亀谷)

内容・平成23年度事業計画・予算ほか
・総会終了後にJICA二本松訓練所の水谷恭二所長から講話を予定しています。
会員の皆様、ぜひご出席ください。